

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年7月29日 (2010.7.29)

【公表番号】特表2010-515352(P2010-515352A)

【公表日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2009-544027(P2009-544027)

【国際特許分類】

H 0 4 W 36/00 (2009.01)

H 0 4 W 36/08 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 3 0 2

H 0 4 Q 7/00 3 0 6

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月11日 (2010.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システム (1 0 0) においてパイロット信号を送信する方法であって、
第 1 のカバレッジエリアに対する第 1 の周波数で第 1 のパイロット信号を送信する第 1 の送信ステップと、
第 2 のカバレッジエリアに対する第 2 の周波数で第 2 のパイロット信号を送信する第 2 の送信ステップと、
前記第 2 のカバレッジエリアで前記第 1 の周波数で前記第 2 のパイロット信号を送信する第 3 の送信ステップとを含み、
前記第 2 のカバレッジエリアが前記第 1 のカバレッジエリアと少なくともオーバーラップする、方法。

【請求項 2】

前記第 1 の送信するステップは第 1 のアンテナ (1 0 5) から送信し、そして、前記第 2 の送信するステップと前記第 3 の送信するステップとはそれぞれ、第 2 のアンテナ (1 1 5) から送信する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 のアンテナは建物 (1 1 0) の外側の屋外基地局 (1 0 5) の中に含まれ、そして、前記第 2 のアンテナは前記建物の内側の屋内基地局 (1 1 5) の中に含まれる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

無線通信システム (1 0 0) においてパイロット信号を送信する方法であって、
第 1 のカバレッジエリアに対する第 1 の周波数で第 1 のパイロット信号を送信する第 1 の送信ステップと、
第 2 のカバレッジエリアに対する第 2 の周波数で第 2 のパイロット信号を送信する第 2 の送信ステップとを含み、前記第 1 のカバレッジエリアは前記第 2 のカバレッジエリアと少なくともオーバーラップし、さらに、
前記第 1 のパイロット信号を前記第 2 の周波数で前記第 2 のカバレッジエリアの一部分の中に送信する第 3 の送信ステップとを含み、前記一部分が前記第 2 のカバレッジエリア

から前記第 1 のカバレッジエリアへ横切られるときに、前記第 2 の周波数での前記第 1 のパイロット信号の信号強度が増大する、方法。

【請求項 5】

前記第 1 の送信するステップは、屋外基地局（105）から前記第 1 の周波数で前記第 1 のパイロット信号を送信する、請求項 1 または 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 の送信するステップは、屋内基地局（115）から前記第 2 の周波数で前記第 2 のパイロット信号を送信する、請求項 1 または 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 2 の送信するステップは、屋内基地局（115）から前記第 2 の周波数で前記第 2 のパイロット信号を送信し、そして、前記第 3 の送信するステップは、前記一部分の出口（120）の近くに配置されたアンテナ（130）から前記第 1 の周波数で前記第 2 のパイロット信号を送信する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

無線通信システム（100）の中での呼ハンドオフを容易にする方法であって、

第 1 の周波数での第 1 のパイロットから第 1 の周波数での第 2 のパイロットへハンドオフするとの要求を移動局から受信するステップと、

前記第 1 の周波数での前記第 2 のパイロットが前記第 1 の周波数のダミー・パイロットであるかどうかを判定するステップと、

前記判定するステップが、前記第 1 の周波数での前記第 2 のパイロットが前記第 1 の周波数のダミー・パイロットであると判定したときには、第 2 の周波数での前記第 2 のパイロットにハンドオフするとの命令を前記移動局に送信するステップとを備える方法。

【請求項 9】

前記移動局の近くの前記無線通信システム（100）の中のいずれの基地局（105、115）も前記第 1 の周波数での前記第 2 のパイロット信号で動作しないときには、前記判定するステップは、前記第 1 の周波数での前記第 2 のパイロットがダミー信号であると判定する、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記無線通信システム（100）が、符号分割多元接続（CDMA）プロトコル、ユニバーサル・モバイル電気通信システム（UMTS）プロトコル、および進化データ最適化（EVDO）プロトコルのうちの 1 つによって動作する、請求項 1、4 または 8 に記載の方法。